

Indonesia Weekly

2019年4月15日



(対象期間：2019/4/8～2019/4/12)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年4月12日)



【株式市場】

外国人投資家からの資金流入が見られましたが、17日の大統領および議会総選挙を前にして、国内投資家の利益確定売りが重となりました。その結果、全てのセクターで下落し、週を通しての株式市場は下落しました。

2019/4/5	2019/4/12	変化率
6,474.02	6,405.87	-1.05%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年4月12日)



【債券市場】

9日に行われた国債入札での応札額は前回の約半分となり、需要の低下を嫌気し、国債市場の上値は重くなりました。入札では主に国内投資家からの需要の低迷が目立ちました。17日の総選挙を前に週後半は様子見姿勢が強まる中、長期債中心に弱含みとなり、週を通しての10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

2019/4/5	2019/4/12	変化幅
7.573	7.683	+0.110

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年4月12日)



【為替市場】

米国や中国の好調な経済指標を受けて、世界的にリスク回帰の動きとなり、ルピアは対円、対米ドルともに堅調となりました。8日に発表された3月の外貨準備高は1,245億米ドルと11か月ぶりの高水準となったこともサポート要因となりました。

2019/4/5	2019/4/12	変化率
0.7894	0.7928	+0.43%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。